

## 入札等監視委員会の議事概要の公表について

北九州市入札等監視委員会の令和4年度第2回定例会議を次のとおり開催したので、別添のとおりその議事概要を公表する。

### 記

開催日時 令和4年8月25日（木） 14：00～15：30

開催場所 本庁5階 プレゼンルーム

## 令和4年度第2回 北九州市入札等監視委員会 議事概要

### 1 会議名

令和4年度第2回北九州市入札等監視委員会

### 2 開催日時

開催日時 令和4年8月25日(木) 14:00～15:30

開催場所 本庁5階 プレゼンルーム

### 3 出席委員(五十音順)

城戸 将江、古林 節子、田籠 亮博、樋上 弥寿子、森江 由美子

### 4 議事

#### (1) 令和4年度第1四半期の工事契約状況等の報告

ア 次の事項について報告した。

- ・工事契約件数及び契約金額について
- ・建設工事等有資格業者に係る指名停止及び資格取消について

#### (2) 令和4年度第1四半期の工事契約抽出案件の審議

ア 抽出方法について

審議する案件は、令和4年度第1四半期に契約をした工事の中から、樋上委員が10件(契約課契約分8件、西部整備事務所分2件)を抽出した。

イ 審議における質疑等

(問) 総合評価、一般競争入札による建築工事で、5億円を超える市議会提出の大型工事であるため詳しい工事内容を知りたく抽出した。

(答) 工事内容は、特別支援学校の建て替え工事である。参加申請は9者で、2者が辞退や無効のため、最終的に7者での入札となった。落札業者の入札金額は2位で、価格以外の評価点が2位、これらを総合した評価値で1位となったため落札した。

(問) 総合評価、一般競争入札による建築工事で、技術点が2位で、落札金額が10位のため、詳しい評価内容を知りたく抽出した。

(答) 参加申請は17者で、3者が辞退や不参加のため、14者による競争となった。落札業者の入札金額は10位だったが、価格以外の評価点が2位で、これらを総合した評価値が1位となったため落札した。入札金額が10位であっても、基準価格との差が小さいため、評価値が高くなったもの。

(問) 一般競争入札による電気工事で、落札率が低いため工事概要を知りたく抽出した。

(答) 道路照明灯の設置工事である。直接工事費に占める機器費の割合が高いため、最低制限価格を設けていない。照明灯の仕入価格等が業者によって差が

あるため、落札率が低くなったもの。

(問) 一般競争入札によるとび土工工事で、業者数が2者と少ないため、参加を控えるような特殊な工事内容であるか知りたく抽出した。

(答) 特別支援学校の特殊基礎となる杭打ち工事である。杭の施工方法を限定していることから、施工可能業者が限られており、広く参加を募るため、市外業者も対象にした一般競争入札とした。結果、参加業者が2者であった。

(問) 指名競争入札による鋼構造物工事で、1億円を超える工事だが指名競争入札となった理由を知りたく抽出した。

(答) 橋梁の鋼構造物を工場で作製し、現場へ搬入する工事である。工事の内容から施工可能業者が限られているため、指名競争入札となった。該当業者は9者で、7者が辞退、2者での入札となった。

(問) 指名競争入札による舗装工事で、落札率が高いため、詳しい工事内容を知りたく抽出した。

(答) 舗装工を主としたJRの駅前広場の整備工事である。舗装の市内Aランク業者16者を指名し、9者が辞退、7者での入札となった。7者のうち6者が最低制限価格を下回り失格となった。残りの1者の入札価格は予定価格に近かったため、落札率が高くなった。

(問) 特命随意契約による管工事で、落札率が100%になる理由について知りたく抽出した。

(答) 市営住宅の都市ガス工事であり、施工可能業者が1者しかいないため、特命随意契約となった。単価が経済産業省の認可によって決まっており、予定価格と見積価格が同額であるため、落札率が100%となった。

(問) 随意契約による機械器具設置工事で、落札率が低いため、工事内容について知りたく抽出した。

(答) 市営住宅のエレベーター新設工事である。仕様を満たす製造・設置業者9者の指名競争入札を行ったが、技術者の配置が困難等の理由により2回入札不調となったため、唯一応札した業者と随意契約した。直接工事費に占める機器費の割合が高く、最低制限価格を設けなかったため、落札率が低くなった。

(問) 指名競争入札によるとび土工工事で、指名業者数が26者と多いため、理由を知りたく抽出した。

(答) とび土工(交通安全)は他の工種に比べて業者数や工事の発注件数が少ないため、西部整備事務所管内で指名可能な業者の全てである26者を指名した。

(問) 指名競争入札による土木工事で、こういった工事内容なのか知りたく抽出した。

(答) 小学校の通学路でもある道路の工事である。歩道が老朽化しており、道幅も狭く、通行に支障をきたしているため、高齢者や障害者も安全で快適に通行できるように歩道部分を拡幅し、セミフラットタイプに再整備する工事である。